



Nexus Data Broker の VXLAN および iVXLAN ヘッダーストリッピング

このchapterでは、Nexus Data Broker (NDB) の VXLAN および iVXLAN ヘッダーストリッピング手順について説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- [Nexus Data Broker – VXLAN および iVXLAN ヘッダーストリッピングについて \(1 ページ\)](#)
- [VXLAN および iVXLAN ヘッダーストリップに関する注意事項と制限事項 \(1 ページ\)](#)
- [Nexus Data Broker 終了の構成 \(2 ページ\)](#)
- [VXLAN および iVXLAN ヘッダーストリップの構成例 \(4 ページ\)](#)

Nexus Data Broker – VXLAN および iVXLAN ヘッダーストリッピングについて

Nexus Data Broker (NDB) VXLAN および iVXLAN 終端により、スイッチは VXLAN および iVXLAN パケットの受信時にヘッダーを削除できます。

NDB スイッチは、以下のシナリオでパケットを受信します。

- スパインとリーフ間のテストアクセスポイント (TAP) ポートは、ACI ファブリックのファブリックリンクに配置されます。
- スイッチドポートアナライザ (SPAN) セッションが設定されるか、TAP が VXLAN オーバーレイネットワークに配置されます。

VXLAN および iVXLAN ヘッダーストリップに関する注意事項と制限事項

- VXLAN アンダーレイが V4 の場合、VXLAN ヘッダーストリップがサポートされます。

- PTEP / VTEP を使用せずに VXLAN および iVXLAN ヘッダを削除できる必要があります。
- VXLAN ヘッダ ストリップはポートごとに有効になります。
- VXLAN および iVXLAN ストリッピングは、次の機能が有効になっている場合はサポートされません。
 - NV オーバーレイ
 - VN-segment-vlan
 - レガシー MPLS ストリップおよび tap-aggregation
- VXLAN ストリッピングは、デフォルトの UDP 値が使用されている場合にサポートされません。
- ポートは、トンネリングされたパケットとトンネリングされていないパケットの両方を管理できる必要があります。
- レイヤ2スイッチポートモードトランクまたはレイヤ2 PO インターフェイスは、VXLAN ヘッダを削除できる必要があります。
- リダイレクトインターフェイスが出力ポートまたはアナライザポートを指している場合、Tap-ACL に `redirect` キーワードを含む適切な ACE が含まれていることを確認します。そうでない場合、パケットは同じ入力ポートにフラッディングされます。
- OFM は、標準 ISSU および LXC-ISSU の VXLAN ストリッピング機能を有効にします。
- カプセル化のタイプごとに1つずつ、最大2つのトンネルプロファイルをスイッチ上に作成できます。
-

VXLAN および iVXLAN ヘッダ ストリップでは、以下のステートメントが当てはまります。

- インターフェイスは、内部パケットで Q-in-Q VLAN のスラップを許可します。
- パケット CRC が正しく実行されます。
- 内部パケットは、入力ポート ACL を使用してフィルタリングできます。

Nexus Data Broker 終了の構成

次の手順は、NDB for VXLAN の終了の概要を示しています。iVXLAN ヘッダ ストリップについても同じ手順に従います。



-
- (注) カプセル化トンネルタイプを VXLAN から iVXLAN に、またはその逆に変更するには、構成されたトンネルを `no encapsulation CLI` を使用して削除する必要があります。
-



(注) 次の CLI が、インターフェイスで VXLAN または iVXLAN のストリップングを有効にするように構成されていることを確認します。

- 宛先
- encapsulation vxlan
- flow terminate interface add Ethernet 1/1

上記の CLI のいずれかが存在しない場合、CLI で指定されたポートで VXLAN または iVXLAN の除去は行われません。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します
ステップ 2	feature ofm 例： switch (config)# feature ofm	機能 ofm を有効にします。
ステップ 3	tunnel-profile profile-name 例： switch(config)# tunnel-profile vtep_vxlan_term switch(config-tnl-profile)#	スタティック VXLAN トンネルを有効にします。
ステップ 4	encapsulation vxlan 例： switch(config-tnl-profile)# encapsulation vxlan switch(config-tnl-profile)#	トンネルプロファイルの適切なカプセル化タイプを設定します。
ステップ 5	destination any 例： switch(config-tnl-profile)# destination any	トンネルプロファイルに必要な宛先を設定します。
ステップ 6	flow terminate interface ethernet 1/1 例： switch(config-tnl-profile)# flow terminate interface ethernet 1/1	フロー条件リストに ethernet1/1 を追加します（ no flow terminate interface コマンドは、構成されていた場合）。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 7	flow terminate interface remove ethernet 1/1 例 : <pre>switch(config-tnl-profile)# flow terminate interface remove ethernet 1/1</pre>	イーサネット 1/1 ポートのみを削除します。
ステップ 8	flow terminate interface add ethernet 1/2-5 例 : <pre>switch(config-tnl-profile)# flow terminate interface add ethernet 1/2-5</pre>	e1/2、e1/3、e1/4、e1/5 をフロー終端インターフェイスの既存のリストに追加します。 (注) フロー終了インターフェイスを追加する際、CLIはL2ポートインターフェイスが存在するか、または有効になっているかを確認しません。たとえば、e1/10 は非ブレイクアウトモードです。CLIでは、インターフェイス e1/10/1-4 でフロー終了リストを追加できません。e1/10 がブレイクアウトの場合、VXLAN ヘッダーストリップ機能が機能します。
ステップ 9	flow terminate interface add port-channel 100-110 例 : <pre>switch(config-tnl-profile)# flow terminate interface add po100-110</pre>	ポート チャンネル 100-110 を古いリストに追加します。新しいリストは e1/10-11 と po100-110 です。
ステップ 10	no flow terminate interface 例 : <pre>switch(config-tnl-profile)# no flow terminate interface</pre>	プロファイルからすべてのフローを削除し、インターフェイスを終了するには。

VXLAN および iVXLAN ヘッダーストリップの構成例

次に、VXLAN および iVXLAN ヘッダーストリッピングの例を示します。手順は iVXLAN でも同じです：

```
switch(config-tnl-profile)# show run ofm
show running-config ofm
feature ofm
```

```
tunnel-profile vxlan1
encapsulation vxlan
destination any
flow terminate interface add port-channel101
flow terminate interface add Ethernet1/1

tunnel-profile vxlan2
encapsulation iVxlan
destination any
flow terminate interface add port-channel101
flow terminate interface add Ethernet1/1
switch(config-tnl-profile)#
switch(config-tnl-profile)# show tunnel-profile
Profile : vxlan1
Encapsulation : Vxlan
State : UP
Destination : Any
Terminate Interfaces : 2
Terminate List : port-channel101 Ethernet1/1
Profile : vxlan2
Encapsulation : iVxlan
State : UP
Destination : Any
Terminate Interfaces : 2
Terminate List : port-channel101 Ethernet1/1
switch(config-tnl-profile)#
```

VXLAN および iVXLAN ヘッダーストリップの構成例

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。